【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】令和4年12月28日(2022.12.28)

【公開番号】特開2021-105707(P2021-105707A)
【公開日】令和3年7月26日(2021.7.26)
【年通号数】公開・登録公報2021-032
【出願番号】特願2020-187240(P2020-187240)
【国際特許分類】
Ｇ０９Ｂ　5/02(2006.01)
Ｇ０９Ｂ　5/04(2006.01)
Ｇ０６Ｔ 19/00(2011.01)
Ｇ０６Ｆ　3/01(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０９Ｂ　5/02
Ｇ０９Ｂ　5/04
Ｇ０６Ｔ 19/00　　Ａ
Ｇ０６Ｆ　3/01　５１０

【手続補正書】
【提出日】令和4年12月20日(2022.12.20)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
コンテンツを視聴するためのコンピュータにおいて実行されるプログラムであって、前記コンピュータは、プロセッサと、メモリとを備え、
前記プログラムは、前記プロセッサに、
第１ユーザがコンテンツを指定する操作に応答して三次元の仮想空間を生成し、前記仮想空間内で、前記第１ユーザに対応する仮想視点を設定し、端末を使用する前記第１ユーザの操作に基づいて仮想視点を制御する第１ステップと、
前記仮想空間内で、前記指定されたコンテンツの再生を開始する第２ステップと、
前記コンテンツを過去に視聴した第２ユーザに対応する第２オブジェクトを前記仮想空間に配置する第３ステップと、
前記仮想空間内の前記仮想視点からの視界に基づき第１ユーザに提示する画像を特定するステップと、を実行させ、
前記第３ステップにおいて、前記第１ユーザが前記コンテンツを視聴する際、前記第２ユーザが前記コンテンツを視聴したときの前記仮想空間内での仮想視点の位置にかかわらない位置に、当該第２オブジェクトを配置させる、プログラム。
【請求項２】
前記第１ステップにおいて、
前記仮想視点を制御することとして、
前記第１ユーザが使用する前記端末の向きに基づき前記仮想視点を制御する、請求項１に記載のプログラム。
【請求項３】
前記第１ステップにおいて、
前記仮想視点を制御することとして、

前記第１ユーザの頭部の動きに基づき前記仮想視点を制御する、請求項２に記載のプログラム。
【請求項４】
コンテンツを視聴するための情報処理装置であって、前記情報処理装置は、制御部と、記憶部とを備え、
前記制御部は、
第１ユーザがコンテンツを指定する操作に応答して三次元の仮想空間を生成し、前記仮想空間内で、前記第１ユーザに対応する仮想視点を設定し、端末を使用する前記第１ユーザの操作に基づいて仮想視点を制御する第１ステップと、
前記仮想空間内で、前記指定されたコンテンツの再生を開始する第２ステップと、
前記コンテンツを過去に視聴した第２ユーザに対応する第２オブジェクトを前記仮想空間に配置する第３ステップと、
前記仮想空間内の前記仮想視点からの視界に基づき第１ユーザに提示する画像を特定するステップと、を実行し、
前記第３ステップにおいて、前記第１ユーザが前記コンテンツを視聴する際、前記第２ユーザが前記コンテンツを視聴したときの前記仮想空間内での仮想視点の位置にかかわらない位置に、当該第２オブジェクトを配置する、情報処理装置。
【請求項５】
コンテンツを視聴するためのコンピュータにおいて実行される方法であって、前記コンピュータは、プロセッサと、メモリとを備え、
前記方法は、前記プロセッサが、
第１ユーザがコンテンツを指定する操作に応答して三次元の仮想空間を生成し、前記仮想空間内で、前記第１ユーザに対応する仮想視点を設定し、端末を使用する前記第１ユーザの操作に基づいて仮想視点を制御する第１ステップと、
前記仮想空間内で、前記指定されたコンテンツの再生を開始する第２ステップと、
前記コンテンツを過去に視聴した第２ユーザに対応する第２オブジェクトを前記仮想空間に配置する第３ステップと、
前記仮想空間内の前記仮想視点からの視界に基づき第１ユーザに提示する画像を特定するステップと、を実行し、
前記第３ステップにおいて、前記第１ユーザが前記コンテンツを視聴する際、前記第２ユーザが前記コンテンツを視聴したときの前記仮想空間内での仮想視点の位置にかかわらない位置に、当該第２オブジェクトを配置する、方法。